

2024年3月31日

全史料協

会長 辻川敦様

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素はひとかたならぬご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

私たちは、一昨年8月以来、認証アーキビストが一堂に会する機会をつくるために集まり活動している認証アーキビストの有志一同です。

昨年2月に認証アーキビスト自身の企画運営による初めての試みとして開催した「認証アーキビストが一堂に会する会2023」に引き続き、今年も国立公文書館のご協力を得て「認証アーキビストが一堂に会する会2024」を2月23日（金祝）に別紙の内容で開催しましたので、その概要について報告させていただきます。

「会2024」は3部構成で、第1部は国立公文書館からのアーキビスト認証に関する最新情報提供、第2部は認証アーキビスト3名からの実践報告、第3部は録画を停止し4室に分かれて約50分間、質疑応答・意見交換を行いました。

「認証アーキビストが一堂に会する会」の実現に際しては、関係機関の皆様がこれまで開催されてきた大会・研究会等の行事を通して培われてきた様々な人的交流の積み重ねが基礎となったことはいまでもありません。来年度以降も「一堂に会する会」の開催を通して、認証アーキビストとしての専門性の維持・向上に務めるとともに、アーカイブズに係る専門職のさらなる発展を目指し、情報や意見交換を重ねて参りたいと考えます。認証アーキビスト限定対象の催事ではありますが、今後の開催についてご相談させていただくこともあろうかと存じます。その際はご指導・ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

謹白

「認証アーキビストが一堂に会する会2024」実行委員会（五十音順）

新井浩文（埼玉県立文書館）

櫛原直樹（東京都公文書館）

猪原千恵（放送大学学園）

毛塚万里（記録資料研究所／志度寺）

柴田知彰（秋田県公文書館）

長井勉（浅野学園史料室）

橋本久美子（東京芸術大学）

長谷川伸

宮田克成（三豊市文書館）

宮平さやか（豊島区総務部総務課）

村上大輔

本件の連絡・問い合わせ先

「認証アーキビストが一堂に会する会 2024」実行委員会

連絡先：

櫛原直樹（いちはらなおき） ichihara@cityfujisawa.ne.jp

毛塚万里（けづかまり） bxq10030@gmail.com

別紙

「認証アーキビストが一堂に会する会 2024」の概要

アーカイブズに係る専門職のさらなる発展、専門職員の信頼性・専門性を維持・向上するために不可欠な情報や人的つながりを深める場となる機会として、「認証アーキビストが一堂に会する会 2024」を開催した。

1 日時・形式等

2024年2月23日（金祝） 14時開始、16時30分終了

参加者 54名

| | |
|----------------|--------------------|
| 2月23日リアルタイム出席者 | 42名（国立公文書館講師2名を含む） |
| プレ企画参加者 | 54名 |

2 主催：「認証アーキビストが一堂に会する会 2024」実行委員会

3 タイムテーブル

13：40～ 受付開始

14：00～ 開会

第1部 国立公文書館からのアーキビスト認証に関する最新情報

国立公文書館統括公文書専門官室アーキビスト認証担当

公文書専門官 中野佳氏

報告：「認証アーキビストの更新に係る検討状況について」

14：20～

第2部 実践報告（各15分）

石原香絵氏（映画保存協会）

「動的映像資料のアーカイブ活動」

視聴覚資料のなかでも動的映像メディア（とりわけ旧式の映画フィルム、磁気テープ、光学ディスク）に特化した収集保存機関、国際組織、基本文献等を紹介し、昨今の実践的な取り組みからいくつかの課題を述べた。

関根豊氏（神奈川県立公文書館）

「自治体アーカイブズにおける認証アーキビストをめぐる状況」

自治体アーカイブズの現場で働く職員やその組織にとって、認証アーキビスト制度はどのような意味を持つのか。自治体アーカイブズで常勤職

員（行政職）・認証アーキビストとして勤務する報告者の視点から考えた。
村上大輔氏（民間企業）

「民間からみた自治体のデジタル化とアーキビスト」

自治体の公文書は、今後、デジタル化が進み、文書館等もこのデジタル化対応として、生成AI、RPA等デジタル技術を取り入れた業務効率化等が求められる。これらについてみなさんと検討することを期待して報告した。

質疑応答

15：20～

休憩

15：30～

第3部 交流 [第3部は録画停止]

1室10名前後で4部屋（ブレイクアウトルーム）に分かれ、自己紹介、実践報告の感想、意見交換等を行った。

16：20～

全体集合、交流ひとこと報告、記念撮影、閉会

4 参加費

無料（要インターネット環境）

5 プレ企画、アフター企画

昨年度参加していない方や、今年度新たに認証アーキビストとなった方までを対象として、昨年の記録動画の視聴提供を行った。また23日のライブ参加が難しい方にも参加いただけるように、商用無料クラウドストレージおよびファイル共有プラットフォームを利用したプレ企画とともに、今年度収録した動画についても視聴提供を終了後同日から行った。

5-1) 記録動画の視聴

・昨年開催した「認証アーキビストが一堂に会する会 2023」記録動画の視聴と報告者資料の提供（1月16日～3月20日）

・本年開催「認証アーキビストが一堂に会する会 2024」記録動画の視聴と報告者資料の提供（2月23日「一堂に会する会 2024」終了後～3月20日）

5-2) 情報の共有・交流

・自己紹介や連絡先のほか、文献やプロジェクト等の紹介、当日の出欠や終了後

の感想を共有する場を開設した。

- ・23 日記念撮影画像と当日のチャット記録もファイル共有の形で提供した。

6. その他

- ・「メーリングリスト」運営要領案の公表

実行委員会で計画中の「メーリングリスト」運営要領案を公表し、意見や参加希望等を書き込める場を開設した。

- ・23 日夜、有志による二次会（Zoom によるオンライン形式）の開催
（20 時開催、21 時 30 分終了、参加 12 名）。

以上